



だい かい  
第14回 LLブックセミナー

える える

# LLブック

よ ほん  
(読みやすくわかりやすい本)

だれもがみんな読書を楽しみたい。

知的障がいや自閉症、読み書き障がい  
などがあったとしても、願いはいっしょ。

すす  
を進める

LLとは、スウェーデン語のLättlästの略語で、「やさしく読める」という意味です。

## 知的障がいのある人の読書支援に もっと図書館を利用しよう！

知的障がいのある人や支援者が、利用したいと思う図書館は、どのような図書館でしょうか？

『わかりやすく面白い本が読める』『LLブックコーナーで読みたい本が探せる』『困ったときは

図書館の人が助けてくれる』『本を読んでもらえる個室がある』『図書館に招いてもらえる』などの

図書館であれば、図書館や読書の好きな人がもっともっと増えるでしょう。

2016年から3年間にわたり、障がい者支援や図書館情報学を専門とする人たちと3館の図書館

が協力して実施してきた「知的障がいの人が図書館を利用したくなる取り組み」を、いろいろと

紹介します。図書館の人、当事者やご家族、教育福祉に関わる人、ボランティアの人、図書館を

利用する多くの方の参加をお待ちしています。

日時：2019年1月27日（日曜日）

13:00～16:30（開場：12:30）

にゅうじょう  
入場

定員：200名（当日先着順）

会場：大阪市立中央図書館 5階大会議室

大阪市西区北堀江4丁目3-2

Osaka Metro千日前線・長堀鶴見緑地線

西長堀駅7号出口すぐ

電話：06-6539-3326

FAX：06-6539-3336





えるえる

# LLブックセミナープログラム

13:00~13:15 あいさつと趣旨説明 藤澤和子（大和大学）

13:15~14:25 公共図書館における障害者サービスの理念と現状 野口武悟（専修大学）

知的障がい者への合理的配慮 小尾隆一（大阪手をつなぐ育成会）

海外の動向と事例（イギリス）  
野村美佐子（日本障害者リハビリテーション協会）

知的障がい者が図書館に求める合理的配慮 藤澤和子

公共図書館で実施すべき合理的配慮  
藤澤和子・野口武悟・山内薫（元墨田区立ひきふね図書館）

14:25~14:55 休憩（マルチメディアDAISY展示と実演）

14:55~15:50 公共図書館の取り組み  
わかりやすい本コーナー 浅井育子（河内長野市立図書館）

図書館体験ツアー 澤井千聡（吹田市立中央図書館）

知的障がい者への読書サポート講座 岩本高幸（桜井市立図書館）

打浪文子（淑徳大学短期大学部）

吉田くすほみ（大阪特別支援教育）

15:50~16:00 研究の意義と今後の課題 藤澤和子

16:00~16:30 質疑応答 司会 岩崎隆彦（姪島こども園施設長）

<総合司会> 岩崎隆彦  
<企画> 藤澤和子 吉田くすほみ

今年のセミナーは、JSPS 科研費 JP16K00453 「公共図書館における知的障害者のための合理的配慮のあり方に関する研究」（研究代表 藤澤和子）で取り組

んだ成果を報告します。参加者には研究報告書、図書館で一般利用者に障害理解を  
促すためのポスター、日本十進分類法ピクトグラム、図書館の実践を紹介するマ  
ンガなどを配布します。



共催：知的障がい・自閉症児者のための読書活動を進める会 大阪市立中央図書館  
後援：(公益財団法人) 大阪特別支援教育振興会 近畿視覚障害者情報サービス研究協  
議会  
大阪手をつなぐ育成会